

# 県知事杯&KBA 杯 反省会

2023.10.26

神奈川県ビリヤード協会 事務局

本紙は、以下の項目についての反省を行い来年の大会をより良いものに改善するための資料です。

## ◆日程調整

2日開催とするか1日開催とするかで悩んだ。

⇒今年も1日開催を強引に押し切った形ですが、結果としては無事に終了した。

むしろ奇跡的との意見も有り。

この結果、実績ができたので来年も1日開催としたい希望がある。

開始時間を早める検討も必要。

**Max エントリー時にさばけるか？シミュレーションが必要！！**

## ◆大会要項作成

大会要項、ポスターを公開したら終了時間についてのクレーム？がとどいた。

終電までに帰れない。次の日仕事。1日開催は無謀 etc

誤記があり、キャンセルが当日まで有効となっていた。

## ◆申請書作成

会場がきまらず、毎年 県庁への申請がギリギリ。

この結果として神奈川県県、神奈川新聞社、県議会全ての賞状のできあがり大会の1週間前となり事務局は、大会の数日前に賞状を受け取りに行くことになった。(印刷をミスすれば大会当日に間に合わない一発勝負となる)

また、この間は、エントリーされているかについての問い合わせ、キャンセル対応、対戦表の作成、準備不足の問題についての対応を同時に処理しているので高負荷。申請を早める事で負荷分散および印刷ミスがあっても対応できる猶予期間が欲しい

◆トロフィー&メダル発注

近年の物価高の影響で金額が跳ね上がった

=>別の会社のカップを代替。メダルも高くなった。 来年はどうする？

◆協賛依頼

=>ナオリーのタップやメンテナンスクリームは伝手を使い、製造元と直接協賛の交渉をした方がよい

=>他にも協賛を希望する企業が有る見込み。

利害関係が一致しているので Win-Win となれる可能性が高い。

来年に向けて発掘作業をした方がよい。

◆ホームページ&フェイスブック告知

特に問題なし。上げて上げるなら Twitter、Instagram など複数の SNS も使うか？

◆エントリーリスト作成

KBA 杯の 1 回戦目がシードだと 4 時間ほど待たされる人がでた。

=>タイムテーブル制にしてはどうか？

◆対戦表作成

作成者の責任負担が大きい。ミスがでるのは当たり前。

=>クロスチェックの充実が必要。

特定の人だけが確認をするのではなく皆さんの目でも互いに確認し作成者のミスを指摘してあげてください。

◆ライブ撮影準備

特になし？

## ◆事前準備

KBA から手配する運営者について事前に手配しないと、直前ではスケジュール調整が効かない。

⇒ 3週間前には手配が必要

追加ルール、遅延試合へのセットアップ案が浮上。ショットクロックの秒数決めなど遅延対策のルール作りが大会の直近であった。

⇒ ショットクロックを導入することで、24時までには大会を終えることができた。しかし、この話は前もって準備／議論できたはず。

⇒ 大会要項、ポスターは公開前にK P B A事務局にも連絡しチェックしてもらう方が良い

## ◆当日作業&運営

### ・ K P B Aへの大会運営費

大会を無事に終了させることができたことについてK P B Aの貢献度は非常に高いと言える。この点については、K B AはK P B Aに感謝する必要があると言える。

今年は、K P B Aの大会運営費を上乗せしたが、来年以降も同様の1日2大会の開催ができるのであれば今年と同様の金額で運営をお任せしたいと考えている。

### ・ ショットクロック

トラブル1件。先に入った台にショットクロックが入らず、後から入った自分のテーブルにはショットクロックが入った。とのこと。

⇒ 公平性の訴えにつき、ショットクロック導入の基準決めが必要

懸念していた秒数に関するクレームは無かった。

### ・ K P B Aの負担

選手 兼 運営 という負担への配慮は？

⇒ タイトなタイムスケジュールをこなすためにK P B Aは協力的に運営を行ってくれた。一方で、選手としてプレーへの影響がでた人もいるかもしれない。

例えば、レフリーをすれば立ちっぱなし。アナウンスやテーブル配置への配慮、時間チェックなど。不満は漏らしていないが運営側への配慮は必要なのでは！？

本音は、ベストなコンディションで集中力を高めて試合に臨みたいはず。

⇒ K B Aも人を出していたが役割の分担がK P B Aに偏っていた感がある。事前に計画を上手く立てれば分業化できるのでは？